SONY®

2-653-429-**02** (1)

取扱説明書

D-NE830

ATRAC CD Walkman

Portable CD player

ATRAC

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~7ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

❶電源を切る。

❷ACパワーアダプターをコンセントから抜く。

❸お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

目次

この取扱説明書では、リモコンでの操作を主として説明しています。

商標について

- "ウォークマン"、"WALKMAN" はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。 WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。
- SonicStageはソニー株式会社の登録商標です。
- ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびATRAC Advanced Losslessはソニー株式会社の商標です。

⚠警告

下記の注意を守らないと**火災・感電、**
または**大けが**の原因となります。

運転、歩行中の使用について

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ないでください。交通事故の原因になります。
- 車の中でお聞きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源を抜き、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因になることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。

感電の原因になります。

下記の注意を守らないと**火災・感電**、
または**大けが**の原因となります。

絶対に分解しない。

レーザー搭載機の場合、レーザー光が目に当たると危険です。

下記の注意を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財**に**損害**を与えることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない。

- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。
- ヘッドホンの音量を上げすぎると音が外にもれます。まわりの人に迷惑にならないように気をつけてください。

はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプター、充電中の電池や製品に長時間触れない。

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れない。また、ホコリがつかないように、CDの出し入れ以外はふたを閉じておく。
- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。CDに傷がついたり、本機の故障の原因となります。
- 次のような場所に置かない。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。

CDの取り扱いについて

- 再生面に手を触れないように持つ。
- 紙やテープを表面に貼らない。
- 直射日光があたるところなど高温の場所や、炎天下で窓を閉め切った車の中に放置しない。
- 本機で使用できるのは円形ディスクのみのため、円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使うと、本機の故障の原因となります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド（Ni-Cd）
ニッケル水素（Ni-MH）
リチウムイオン（Li-ion）

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険　充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠警告 充電スタンドを付属している場合

充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電端子が金属につながると、ショートし、発熱することがあります。

⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、ACパワーアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠警告 外付け乾電池ケースを付属している場合

外付け乾電池ケースも乾電池と同様に、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。

⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

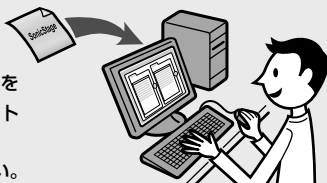
お願い

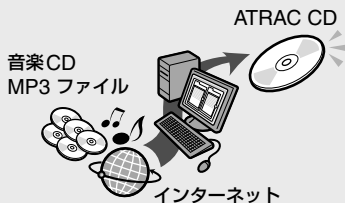
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

ATRAC CDを作って楽しもう

通常の音楽CDに加えて、SonicStage（ソニックステージ）ソフトウェアを使って作成したオリジナルのCD（ATRAC CDと呼ぶ）を再生できます。SonicStageを使うと、音楽CD約30枚分*の曲を1枚のCD-RまたはCD-RWに記録できます。
ATRAC CDに入れた音楽を聞くまでの流れは以下のとおりです。

SonicStageをパソコンにインストールする

SonicStageは、音楽CDやインターネットから音楽をパソコンに取り込んで、オリジナルのCDを作るソフトウェアです。インストールの方法については、同梱の「ソフトウェア インストール ガイド」をご覧ください。

ATRAC CDを作る

パソコンに取り込んだ音楽から好きな曲を選び、SonicStageを使って、CD-R/CD-RWディスクに書き込みます。

CDウォークマン（本機）で聞く

たくさんの曲が入ったオリジナルのCDを、手軽に持ち歩いて楽しめます。

- インターネットへの接続環境が必要です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

* 700MB（メガバイト）のCD-R/CD-RWディスクに、1枚あたり約60分の音楽CDをATRAC、48 kbpsで記録したときの換算です。

本機で再生できるディスクは？

音楽CD：

CD-DAフォーマット

CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般音楽CDの規格です。

ATRAC CD：

ATRACフォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク*

ATRACは、Adaptive Transform Acoustic Codingの略で、ソニー株式会社が開発した音声圧縮技術ATRAC3、ATRAC3plusおよびATRAC Advanced Losslessの総称です。高圧縮ながら高音質を実現するATRAC3、ATRAC3plusと無劣化記録を実現するATRAC Advanced Lossless**が幅広い用途に対応します。

** 本機はATRAC Advanced Losslessには対応していません。

対応しているビットレートとサンプリング周波数は以下のとおりです。

	ビットレート	サンプリング周波数
ATRAC3	66/105/132 kbps	44.1 kHz
ATRAC3plus	48/64/256 kbps	44.1 kHz

曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報は、本機では62文字まで表示できます。

MP3 CD：

MP3フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク*

対応しているビットレートとサンプリング周波数は以下のとおりです。
可変ビットレート（VBR）にも対応しています。

	ビットレート	サンプリング周波数
MPEG-1 Layer3	32 - 320 kbps	32/44.1/48 kHz
MPEG-2 Layer3	8 - 160 kbps	16/22.05/24 kHz
MPEG-2.5 Layer3	8 - 160 kbps	8/11.025/12 kHz

対応しているID3タグのバージョンは、1.0/1.1/2.2/2.3/2.4です。ID3タグは曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するフォーマットです。本機では64文字まで表示できます。

CD-Extra、Mix Mode CD:

CD-DAフォーマットとCD-ROMフォーマットの共存しているディスク*

再生できないときは、「CD-EXTRA」の設定（☞31ページ）を変更してください。
再生できる場合があります。

SonicStageを使って作成したATRAC CDに、さらにSonicStage以外のソフトウェアを使ってMP3の音声データを混在させた場合でも再生できます。
SonicStageでは、音声データの種類が混在したディスクを作ることはできません。

* ISO 9660 Level 1/2形式とJoliet拡張形式でフォーマット済みのディスク。

次のページにつづく

著作権保護技術付音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

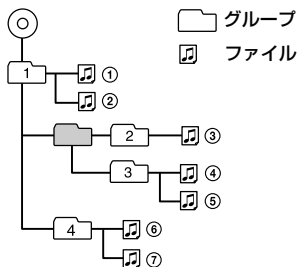
音楽CDとATRAC CD/MP3 CDのファイル構造の違いについて

ATRAC CDとMP3 CDは、「グループ」と「ファイル」から成り立ちます。
「ファイル」は音楽CDの「曲」に相当し、「グループ」はファイルを束ねたもので音楽CDの「アルバム」に相当します。
本機では、MP3 CDのフォルダも「グループ」と認識し、同じ操作で使用できます。

使用できるグループ数とファイル数

- 最大グループ数：256
- 最大ファイル数：999

ATRAC CDやMP3 CDの再生について

ATRAC CDでは、SonicStageで選んだ曲順に再生されます。
MP3 CDでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。再生するMP3ファイルの順番を記載した「プレイリスト」も再生できます。右記MP3 CDの例では、①から⑦の順にファイルが再生されます。

（使用できる最大ディレクトリ階層：8階層）

ご注意

- ATRACとMP3ファイルが混在したディスクでは、ATRACファイルを優先して再生します。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- ATRAC/MP3の記録されているディスクには、それ以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。

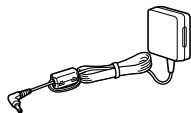
ATRAC CDについて

- ATRACファイルを書き込んだディスクは、パソコンのドライブでは再生できません。

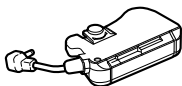
MP3 CDについて

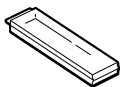
- MP3ファイルには、「mp3」の拡張子を付けてください。ただし、MP3以外のファイルに「mp3」の拡張子を付けると、そのファイルは正しく認識されません。
- MP3ファイルに圧縮するとき、圧縮ソフトの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定」を推奨します。
- 最大容量まで記録する場合は、書き込みソフトで「追記禁止」の設定をしてください。
- 未使用のCD-R/CD-RWディスクに最大容量まで1回で記録する場合は、書き込みソフトで「Disc at Once（ディスクアット ワンス）」の設定をしてください。

付属品を確かめる

- ACパワーアダプター（1）

- リモコン（本機専用）（1）

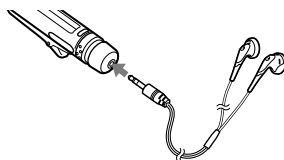
- ヘッドホン（1）

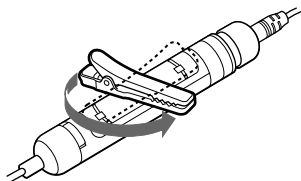
- 外付け乾電池ケース（1）

- 充電式電池（充電池）（1）

- バッテリーキャリングケース（1）

- キャリングポーチ（1）

- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

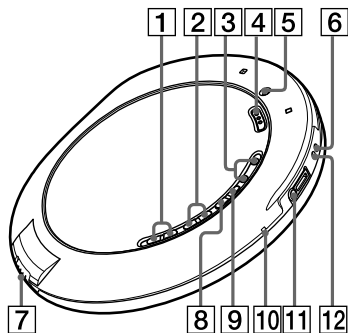
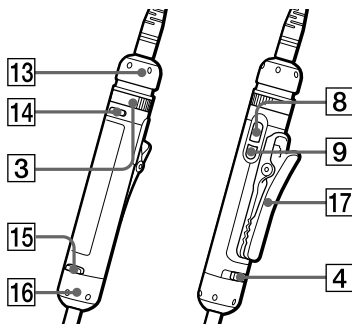
ヘッドホンをリモコンにつなぐには

ヘッドホンのプラグをリモコンにしっかり差し込んでください。

リモコンクリップの使いかた

クリップの向きを変えることができます。下記のようにクリップを回転させてください。また、曲名などの表示方向を逆転させることができます（☞29、31ページ）。

本機を海外へお持ちになるときは

付属のACパワーアダプターは、AC100V～240V、50/60Hzの範囲で使用できます。使用する地域の電圧や電源コンセント形状などは旅行代理店などで確かめてください。
使用する地域の電源コンセント形状が付属のACパワーアダプターのプラグ形状と異なる場合は、ACプラグ変換アダプターを別途お買い求めください。

各部の名前

本体（裏面）

リモコン

1 🗀（グループ）＋/－ボタン（☞19ページ）

2 ⏮/⏭ボタン（☞19ページ）

3 本体：
VOL＋*/－ボタン（☞18ページ）
リモコン：
VOL（Volume（ボリューム））＋/－つまみ
（☞18、20、25、27ページ）

4 HOLD（ホールド）スイッチ
（☞20ページ）

5 外付け乾電池ケース用ネジ穴（☞15ページ）

6 EXT BATT（エクスターナルバッテリー）ジャック（☞15ページ）

7 OPEN（オープン）つまみ（☞14、18ページ）

8 ▶II（再生/一時停止）*ボタン
（☞18-20、22、24-27ページ）

9 本体：
■（停止）/CHG（Charge（チャージ））ボタン
（☞14、19ページ）
リモコン：
■（停止）ボタン
（☞19、27、28、30ページ）

10 OPR（Operation（オペレーション））ランプ（☞14、15、18、20ページ）

11 🎧（ヘッドホン）/LINE（ライン） OUT（アウト） ジャック
（☞18、32ページ）

12 DC IN 3V（ディーシーイン）ジャック（☞14ページ）

13 オペレーションダイヤル（☞19、20、24-26、29ページ）

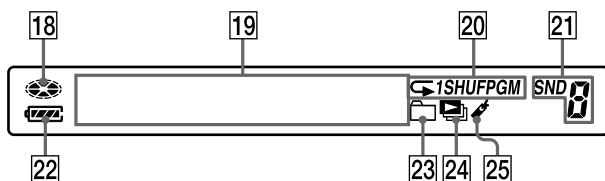
14 SEARCH（サーチ）ボタン（☞20ページ）

15 ファンクションボタン（☞21、22、25、26、29ページ）

16 ファンクションダイヤル（☞21、22、25、26、29ページ）

17 クリップ（☞11ページ）

* 凸点（突起）が付いています。操作の目印として使ってください。

リモコン表示窓

18 ディスク表示（☞18ページ）

19 文字情報表示部（☞21ページ）

20 再生モード表示（☞23-25ページ）

21 サウンド表示（☞26ページ）

22 電池残量表示（☞14、16ページ）

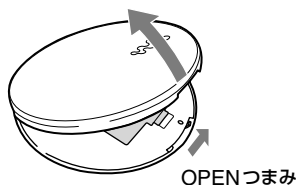
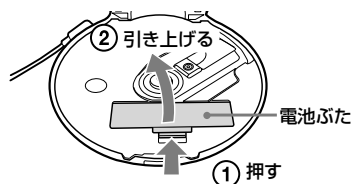
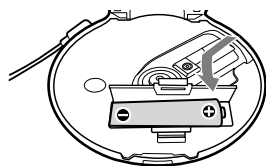
23 グループ表示（☞23、24ページ）

24 プレイリスト表示（☞23、24ページ）

25 ブックマーク表示（☞23、24ページ）

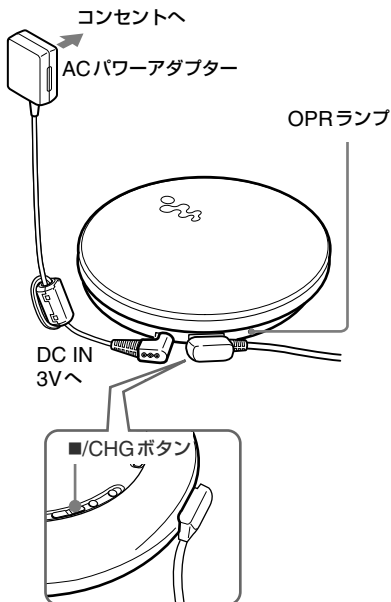
電池を充電する
（充電式電池）

初めて使うときや電池が消耗したときは、充電式電池（充電池）を充電してください。充電池は消耗しきってから（表示窓に「電池残量なし」が出る）充電すると、長持ちします。

1 **OPENつまみをスライドさせてふたを開ける。**

2 **電池ぶたを開ける。**

3 **充電池NH-14WM（付属）の⊕側を電池入れの⊕の表示に合わせて入れ、電池ぶたと本体のふたを「カチッ」と音がするまで閉める。**

⊖側を先に入れる。

4 **ACパワーアダプターをつなぎ、■/CHGボタンを押す。**

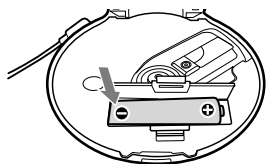
本体のOPRランプが点滅した後、点灯します。

リモコン接続時は、リモコン表示窓に「充電中」が点滅し、[電池マーク] も流れるように点灯します。

OPRランプと「充電中」が消えたら、充電終了です。

ご注意

- 充電池NH-14WM（付属）、NH-10WM（別売り）以外は充電しないでください。
- 充電中に▶Ⅱボタンを押すと、充電が止まって再生が始まります。
- 再生中にACパワーアダプターを接続すると、再生が止まります。
- 充電中は本体や充電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 長期間使用しないときは、本体から充電池を取り出してください。

充電池を取り出すときは

充電池の⊖側を押す。

充電池の持続時間と電池交換のめやすについて

電池の特性として、初めて充電するときや長期間使用しなかったときは、充電しても持続時間が通常より短いことがあります。その場合は、OPRランプが消えるまで充電後、充電池が消耗しきる（表示窓に「電池残量なし」が出る）まで使い、これを何度か繰り返すと通常の状態に戻ります。それでもなお、常温で使える時間の半分位で電池がなくなるときは、新しい充電池と交換してください。

充電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。

URL：http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

乾電池で使うときは

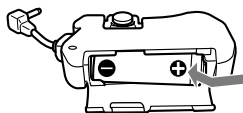
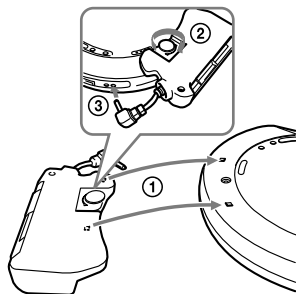
本体内の充電池と一緒に、外付け乾電池ケースを取り付けて乾電池も使うと、より長い時間再生できます。

ACパワーアダプターをはずしてから、外付け乾電池ケースをつなぎます。

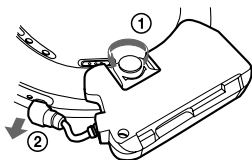
本体内の充電池と外付け乾電池ケース内の乾電池は同時に消耗します。

ご注意

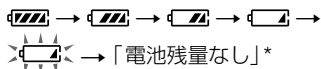
- 充電池と乾電池を合わせて使う場合は、充電池は充電し、乾電池は新しい電池をお使いください。
- 乾電池でお使いになるときは、必ずアルカリ乾電池を使ってください。
  それ以外の乾電池では、電池の持続時間が短くなるなど、機種本来の性能を発揮できない場合があります。

1 単3形（LR6）アルカリ乾電池1本（別売り）を乾電池入れの⊕の表示に合わせて入れ、ふたを閉める。

2 外付け乾電池ケースを本体にしっかり取り付け、ネジをLOCK（ロック）の方向へ回す。外付け乾電池ケースを本体のEXT（エクスターナル） BATT（バッテリー）ジャックにつなぐ。

次のページにつづく

外付け乾電池ケースを外すには

ネジをRELEASEの方向へ回してゆるめる。外付け乾電池ケースの端子を本体のEXT BATTジャックから抜く。

電池残量を確認する

表示窓に以下のように表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、残量が減っています。

→ → → →
→「電池残量なし」*

*「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、充電池は充電し、乾電池は交換してください。

ご注意

- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、残量表示は増減します。

電池の使用可能時間 1)

NH-14WM 1本使用時（約5時間充電 2)）

	G-PROTECTION（ジープロテクション）	
	設定「1」	設定「2」
音楽CD	約16時間	約14時間
ATRAC CD 3)	約40時間	約40時間
MP3 CD 4)	約26時間	約26時間

外付け乾電池ケース（アルカリ乾電池1本 5)）使用時

	G-PROTECTION	
	設定「1」	設定「2」
音楽CD	約24時間	約21時間
ATRAC CD 3)	約61時間	約61時間
MP3 CD 4)	約41時間	約41時間

NH-14WM 1本＋外付け乾電池ケース（アルカリ乾電池1本 5)）使用時

	G-PROTECTION	
	設定「1」	設定「2」
音楽CD	約42時間	約38時間
ATRAC CD 3)	約105時間	約105時間
MP3 CD 4)	約73時間	約73時間

1）電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。
「パワーセーブ」を「2」に設定し（☞31ページ）、本体を水平に置いて振動のない状態で再生した場合の目安です。再生時間は使用状況によって変わります。

2）充電時間は充電池の使用状態により異なります。

3）48 kbpsで記録されたCDの場合。

4）128 kbpsで記録されたCDの場合。

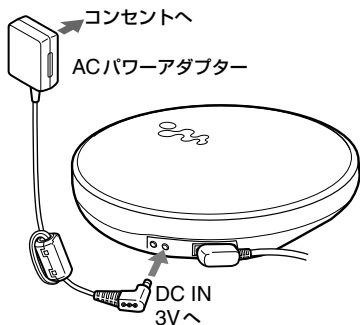
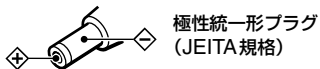
5）日本製ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）で測定。

ACパワーアダプターで使うときは

電池を使わずに、ACパワーアダプターをつないで使えます。

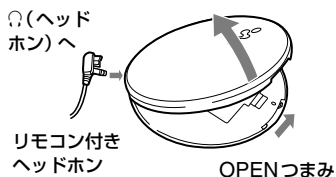
1 ACパワーアダプターをつなぐ。

ACパワーアダプターについてのご注意

- 本機を長期間使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。
- 付属のACパワーアダプターを使ってください。他のACパワーアダプターを使うと、故障の原因となることがあります。

- ACパワーアダプターは手が容易に届く電源コンセントに接続し、異常が生じた場合はコンセントから速やかに抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込みキャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使わないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

再生する

1 **OPENつまみをスライドさせてふたを開ける。**

あらかじめリモコン付きヘッドホンを本体につないでおきます。

2 **CDを入れ、ふたを閉める。**

OPRランプが赤、オレンジ、緑に繰り返し点灯します。

3 **リモコンの▶II ボタンを押す。**

表示窓の (ディスク) が動画に変わり、再生が始まります。

OPRランプは再生する曲のフォーマット(☞9ページ) によって色が変わります。

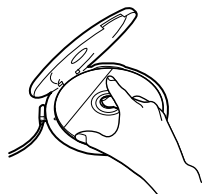
音楽CDは赤、ATRACは緑、MP3はオレンジに点灯します。

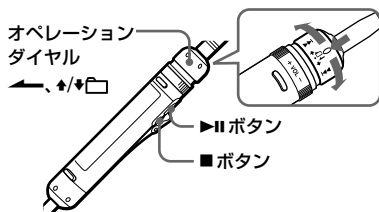
4 **リモコンのVOL＋/－つまみを回して音量を調節する。**

本体で操作するときは

CDを入れ、▶II ボタンを押す。VOL＋またはーボタンを押して音量を調整する。

CDを取り出すには

中心の黒い部分を押さえながら、端の方からつまみあげる。

再生の基本操作一覧（再生、停止、頭出し）

リモコン

こんなときは		リモコン操作。（ ）内は本体操作。
再生	1曲目から再生する	停止中に、再生が始まるまで ▶II ボタンを押したままにする。 （停止中に、再生が始まるまで ▶II ボタンを押したままにする。）
停止	一時停止する/一時停止を解除する	▶II ボタンを押す。 （▶II ボタンを押す。）
	再生を止める	■ ボタンを押す。 （■/CHG ボタンを押す。）
頭出し	今聞いている曲を頭出しする[1]	オペレーションダイヤルを I◀◀ 方向へ1度動かす。 （I◀◀ ボタンを1度押す。）
	前の曲、さらに前の曲を頭出しする[1]	オペレーションダイヤルを I◀◀ 方向へ繰り返し動かす。 （I◀◀ ボタンを繰り返し押す。）
	次の曲を頭出しする[1]	オペレーションダイヤルを ▶▶I 方向へ1度動かす。 （▶▶I ボタンを1度押す。）
	さらに先の曲を頭出しする[1]	オペレーションダイヤルを ▶▶I 方向へ繰り返し動かす。 （▶▶I ボタンを繰り返し押す。）
	早戻しする[1]	オペレーションダイヤルを I◀◀ 方向へ動かしたままにする。 （I◀◀ ボタンを押したままにする。）
	早送りする[1]	オペレーションダイヤルを ▶▶I 方向へ動かしたままにする。 （▶▶I ボタンを押したままにする。）
	グループを送る[2]	オペレーションダイヤルを 方向へ押したまま、 方向へ繰り返し動かす。（ ＋ボタンを繰り返し押す。）
	グループを戻す[2]	オペレーションダイヤルを 方向へ押したまま、 方向へ繰り返し動かす。（ −ボタンを繰り返し押す。）

1） 再生中または一時停止中のみ操作できます。

2） 音楽CD以外のCDを再生中のみ操作できます。

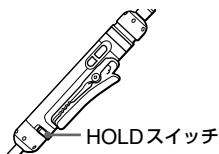
次のページにつづく

再生

誤操作を防ぐ（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。本体のHOLD機能が働いているときは、操作してもOPRランプが点滅して、操作が無効になります。

1 リモコンまたは本体裏面のHOLDスイッチを矢印の方向にスライドする。

リモコンと本体別々に、誤操作防止状態（HOLD）にできます。例えば、本体をHOLDにしても、リモコンをHOLDにしなければ、リモコンで操作できます。

HOLDを解除するには

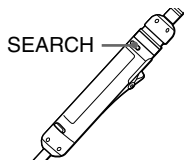
リモコンまたは本体のHOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドする。

ご注意

HOLDが働いていても、リモコンの表示窓に「ホールド」とは表示されません。

曲を探して再生する

一覧から探す（List View）

曲のフォーマット、グループ名、曲名などの一覧を確認しながら曲を探せます

1 SEARCHボタンを1回押す。

2 VOL ＋/－つまみでグループを選び、►II ボタンを押して決定する。

MP3 CDなどで、階層を移動してグループを選ぶ場合は、オペレーションダイヤルを I◄◄ または ►►I 方向へ動かします。

3 VOL ＋/－つまみで曲を選び、►II ボタンを押して決定する。

選んだ曲の再生が始まります。

1つ前の画面に戻るには

オペレーションダイヤルを I◄◄ 方向へ動かす。または、オペレーションダイヤルを ◄━ 方向へ押したまま、↓🗀方向へ動かす。

操作を途中でやめるには

■ボタンを押す。

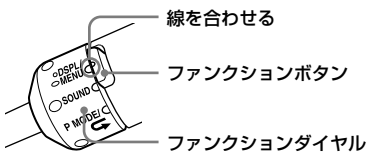
表示窓で情報を見る

リモコンの表示窓で、CDの詳しい情報を確認できます。

ID3タグ入りのMP3 CDでは、ID3タグの情報が表示されます（ID3タグ情報がないときは、ファイル名またはグループ名）（☞9ページ）。

ご注意

- 表示できる文字は、英数字と記号、漢字、ひらがな、全角カタカナです。
- ファイルを再生する前に、本機はCDに記録されているファイルとグループまたはフォルダの全情報を読み込み、「読込中」と表示されます。CDの内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- グループに属さないファイルはグループ名が「MP3 ROOT」と表示されます。

リモコン表示窓で確認するときは

リモコンのファンクションダイヤルをDSPL/MENUに合わせ、ファンクションボタンを繰り返し押す。

音楽CDの場合

→ 曲番、現在の再生時間（曲名、アーティスト名）[1)]

001: 01:02

↓

総残り曲数、総残り時間（アルバム名）

012: -63:42

↓

アニメーション画面

ATRAC CD/MP3 CDの場合

→ ファイル番号、ファイル名、アーティスト名、現在の再生時間

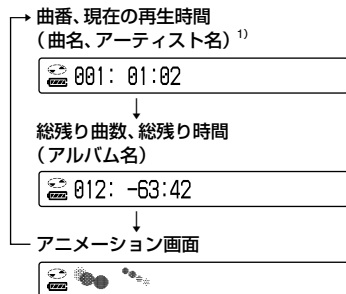
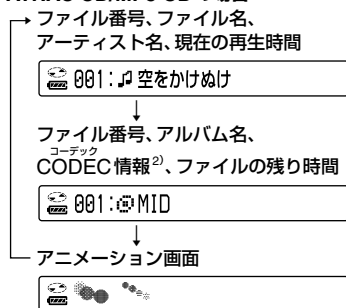
001:♫ 空をかけぬけ

↓

ファイル番号、アルバム名、CODEC（コーデック）情報[2)]、ファイルの残り時間

001:MID

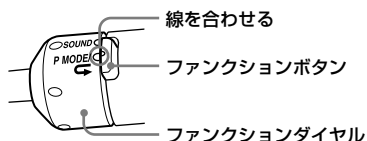
↓

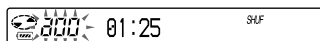
アニメーション画面

1) CD-TEXTなど文字情報が入っている場合、表示されます。

2) ビットレート、サンプリング周波数。VBR（可変ビットレート）で作成されたMP3ファイルを再生しているときは、ビットレート部分に「VBR」と表示されます。曲の途中から表示される場合もあります。

再生方法（プレイモード）を変える

好きな曲だけを聞いたり、順番を並べかえて聞くことができます。

再生方法（プレイモード）について詳しくは、☞23ページをご覧ください。
また、選んだ再生方法を繰り返して聞くこともできます（リピート再生、☞25ページ）。

1 再生中に、リモコンのファンクションダイヤルをP MODE/に合わせ、ファンクションボタンを繰り返し押して再生方法を選ぶ。

選んだ再生方法が表示窓に点灯または点滅します。点滅している場合は、►II ボタンを押します。

通常再生に戻るには

リモコンのファンクションダイヤルをP MODE/に合わせ 、再生方法の表示が消えるまで、ファンクションボタンを繰り返し押す。

再生方法（プレイモード）一覧

リモコンの表示	説明
表示なし （通常再生）	CDに録音されている全曲を、曲番順に1回再生します。 ATRAC CD/MP3 CDの場合は、「再生順設定」の設定によって、再生順が異なります。
🗀 （グループ再生）	選んだグループに含まれる全曲または全グループを再生します（ATRAC CD/MP3 CDのみ）（☞24ページ）。
1 （1曲再生）	現在再生中の曲だけを1回再生します。
SHUF （シャッフル再生）	CDに録音されている全曲を、順不同に1回再生します。
🗀SHUF （グループシャッフル再生）	選んだグループの全曲を、順不同に1回再生します（ATRAC CD/MP3 CDのみ）（☞24ページ）。
（ブックマーク再生）	聞きたい曲にブックマーク（しおり）を付けて、その曲だけを再生します。ブックマークを付けた順番には関係なく、曲番の小さいほうから再生が始まります（☞24ページ）。
（m3uプレイリスト再生）	選んだm3uプレイリスト*の曲を再生します（MP3 CDのみ）（☞24ページ）。
a00 （オートランキング再生）	再生中のCDのよく聞く曲を本機が自動的に記憶して、10位から順に1位まで再生します。
a00 SHUF （オートランクシャッフル再生）	本機が自動的に記憶したよく聞く曲最大31曲を順不同に再生します。
PGM （プログラム再生）	最大64曲まで、好きな曲順に並べ換えて再生します（☞25ページ）。
イントロ再生	再生中の曲に続く曲の最初の約10秒を1回再生します。イントロ再生中にリモコンのファンクションダイヤルをP MODE/に合わせ、ファンクションボタンを押すと、その曲を終わりまで再生します。

* m3uプレイリストは、再生するMP3ファイルの順番をあらかじめ記載したファイルのことです。m3uフォーマット対応のエンコードソフトウェアでCD-R/CD-RWを作成したときに使用できます。ファイル名で並べたリストの先頭の8つまで扱えます。

次のページにつづく

グループを再生する

1 「再生方法（プレイモード）を変える」（☞22ページ）の手順1で、「🗀」または「🗀SHUF」を選ぶ。

2 VOL＋/－つまみを回してグループを選ぶ。

MP3 CDなどで、階層を移動してグループを選ぶ場合は、オペレーションダイヤルを⏮または⏭方向へ動かし、階層内でグループを選ぶ場合は、VOL＋/－つまみを回します。

3 ▶II ボタンを2秒以上押して決定する。

選んだグループに含まれるすべての曲の再生が始まります。

ご注意

グループの中に曲が入っていない場合、または、グループの階層が最下位の場合、「無効操作です」と表示されます。

聞きたい曲だけ再生する（ブックマーク再生）

1 ブックマーク（しおり）を付けたい曲の再生中に、✐（ブックマーク）がゆっくり点滅するまでリモコンの▶II ボタンを押したままにする。

2 複数の曲にブックマークを付けたいときは、手順1を繰り返す。

音楽CDは10枚まで（1枚につき最大99曲）、ATRAC CDとMP3 CDは5枚まで*（1枚につき最大999曲）ブックマークを付けられます。

3 「再生方法（プレイモード）を変える」の手順1（☞22ページ）で✐（ブックマーク）を選ぶ。

4 ▶II ボタンを押して決定する。

ブックマークを消すには

ブックマークを付けた曲の再生中に、✐が消えるまで、リモコンの▶II ボタンを押したままにする。

ご注意

- 11枚以上（ATRAC CD/MP3 CDの場合、6枚以上*）のCDにブックマークを付けようとすると、すでにブックマークが付いているCDのうちで、最初に再生したCDのブックマークから消えていきます。
- 電源をすべて外したときと、「電池残量なし」が表示される充電池を充電しないまま使ったときは、登録されていたすべてのブックマークが消えます。

* 1枚のCDに収録されている曲数が513曲以上の場合。

選んだプレイリストの曲を再生する（m3uプレイリスト再生）

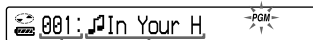
1 「再生方法（プレイモード）を変える」の手順1（☞22ページ）で🖹（プレイリスト）を選ぶ。

2 リモコンのオペレーションダイヤルを⏮または⏭方向へ動かしてリストを選ぶ。

3 ▶II ボタンを押して決定する。

好きな曲順で再生する（プログラム再生）

1 停止中に、リモコンのファンクションダイヤルをP MODE/↩ に合わせ、「PGM」が点滅するまでファンクションボタンを繰り返し押す。

001: ♪In Your H　PGM

再生順　ファイル名または曲名

2 VOL＋/－つまみを回して曲を選び、再生順の表示が変わるまで►II ボタンを押したままにして決定する。

ATRAC CD/MP3 CDでは、オペレーションダイヤルを←方向へ押したまま↑□または↓□方向へ動かして、別のグループの曲を選べます。

3 手順2を繰り返して好きな順に曲を選ぶ。

64曲まで設定できます。64曲を選ぶと、最初に選んだ曲番（音楽CD）またはファイル名（ATRAC CD/MP3 CD）が表示されます。65曲以上選ぶと、最初に選んだ曲から順に消えていきます。

4 ►II ボタンを押す。

選んだ順に再生が始まります。

選んだ曲順を確認するには

1 停止中に、リモコンのファンクションダイヤルをP MODE/↩に合わせ、「PGM」が点滅するまでファンクションボタンを繰り返し押す。「PGM」が点滅したら、リモコンの►II ボタンを表示が変わるまで押したままにする。

2 リモコンの►II ボタンを表示が変わるまで押す。押すたびに、再生順に曲が表示されます。

再生

繰り返し聞く（リピート再生）

1 リモコンのファンクションダイヤルをP MODE/↩ に合わせ、ファンクションボタンを繰り返し押して繰り返したい再生方法を選ぶ（☞23ページ）。

2 ↩（リピート）が点灯するまで、ファンクションボタンを押したままにする。

選んだ再生方法が繰り返されます。

通常の再生に戻すには

リモコンのファンクションダイヤルをP MODE/↩ に合わせ、↩ が消えるまでファンクションボタンを押す。

音質を変える

設定項目と内容について詳しくは、☞28ページをご覧ください。

好みの音質で選ぶ

「イコライザー」、「低音強調設定」の2つの設定が可能です。両方設定すると、好みの音質でより重低音が楽しめます。

1 **リモコンのファンクションダイヤルをSOUNDに合わせる。**

2 **ファンクションボタンを繰り返し押して、「イコライザー」または「低音強調設定」を表示させる。**

3 **▶II ボタンを押して決定する。**

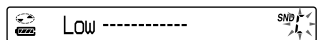
4 **オペレーションダイヤルを I◀◀ または ▶▶I 方向へ動かして、好みの音質を選ぶ。**

5 **▶II ボタンを押して決定する。**

好みの音質に細かく設定する（カスタム設定）

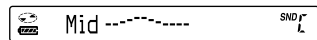
表示窓で波の高さと位置を見ながら、音域ごとにさらに細かく音質を設定できます。

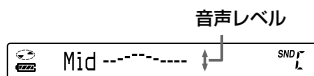
1 **リモコンのファンクションダイヤルをSOUNDに合わせ、ファンクションボタンを繰り返し押して「イコライザー」を表示させ、▶II ボタンを押す。**

2 **オペレーションダイヤルを I◀◀ または ▶▶I 方向へ繰り返し動かして「カスタム設定」を選び、▶II ボタンを押す。**

3 **調整したい音域が表示されるまでオペレーションダイヤルを I◀◀ または ▶▶I 方向へ2秒以上動かしたままにする。**

初めに「Low（ロー）」が表示されます。
3つの音域（低音域の「Low」、中音域の「Mid（ミディアム）」、高音域の「Hi（ハイ）」）があります。

4 **オペレーションダイヤルを I◀◀ または ▶▶I 方向へ繰り返し動かして音域を選ぶ。**

各音域にはさらに3段階あります。

5 **VOL＋/－つまみを繰り返し回して音声レベルを選ぶ。**

7段階で調節できます。

6 **手順3～5を繰り返して残りの音域の設定を行う。**

7 **►II ボタンを押す。**

1つ前の画面に戻るには

リモコンの■ボタンを押す。

途中で設定をやめるには

リモコンの■ボタンを2秒以上押したままにする。

ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「カスタム設定」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

次のページにつづく

SOUND項目一覧

1つ前の状態に戻るにはリモコンの■ボタンを押します。設定を途中でやめるにはリモコンの■ボタンを2秒以上押したままにします。

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
イコライザー	● オフ	通常の音質。
	ソフト	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質。
	アクティブ	低域と高域を強調したメリハリのある音質。
	ヘビー	低域と高域をさらに強調した迫力のある音質。
	カスタム設定	自分で設定した音質（設定方法は☞26ページ）。
低音強調設定	● オフ	通常の音質。
	低音1	低域を強調した音質。
	低音 2	BASS 1より低域を強調した音質。
	低音 3	BASS 2より低域を強調した音質。

ご注意

「低音強調設定」設定をした後に「イコライザー」設定を変更すると、「イコライザー」設定が優先されます。「イコライザー」設定と「低音強調設定」設定の両方を設定する場合は、「イコライザー」設定を先に行ってください。

設定を変える

設定項目と内容について詳しくは、「OPTION項目一覧」（☞30ページ）をご覧ください。

いろいろな機能の設定をする

メニューを表示する言語や再生順などの設定を変えることができます。

1 **リモコンのファンクションダイヤルをDSPL/MENUに合わせ、表示が点滅するまでファンクションボタンを押したままにする。**

2 **オペレーションダイヤルを⏮または⏭方向へ動かして設定したい項目を選び、▶II ボタンを押して決定する。**

操作確認音

3 **オペレーションダイヤルを⏮または⏭方向へ動かして設定内容を選び、▶II ボタンを押して決定する。**

「LANGUAGE」または「再生順設定」を設定する場合は、手順**3**を繰り返します。

次のページにつづく

OPTION項目一覧

1つ前の状態に戻るにはリモコンの■ボタンを押します。設定を途中でやめるにはリモコンの■ボタンを2秒以上押したままにします。

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）		
LANGUAGE	MENU	ENGLISH	メニューや警告表示の言語を選べます。
		FRANCAIS	
		DEUTSCH	
		ITALIANO	
		● 日本語	
		한국어	
		PORTUGUÊS	
		PYCCKИЙ	
		简体中文	
		ESPAÑOL	
		繁體中文	
	TEXT [1) 2)]	● AUTO[3)] （自動設定）	CD-TEXT、ID3タグ、ファイル/グループ名の言語を選べます。
		ENGLISH	
		FRANCAIS	
		DEUTSCH	
		ITALIANO	
		日本語	
		한국어	
		PORTUGUÊS	
		PYCCKИЙ	
		简体中文	
		ESPAÑOL	
		繁體中文	
G-PROTECTION [1)] （音飛び防止）	● 1	音飛びを抑えながら、CD本来の高音質で再生します。	
	2	さらに音飛びに強くなります。	
AVLS [4)] （快適音量）	● オフ	音量の制限無しで、操作に合わせて音量が変わります。	
	オン	音もれや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がりません。	
タイマー設定	● オフ	タイマーは働きません。	
	オン	1～99 分	設定した時間が経過すると約5秒間「オフタイマー」と表示され、自動的に再生が停止します。リモコンのVOL＋/－つまみを回すたびに5分ごと、回しつづけると1分ごとに時間を設定できます。お買い上げ時の設定は「10分」です。
出力モード[1)]	● ヘッドホン	付属のヘッドホンをつないでいるときに選びます。	
	ラインアウト	アクティブスピーカーなどの他機を音声コードで接続しているときに選びます（☞32ページ）。	
操作確認音	● オン	操作時の確認音（ピッなど）が鳴ります。	
	オフ	確認音は鳴りません。	

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）		
無曲間再生 [1] [5]	● オフ		曲間をそのまま再生します。
	オン		曲間を空けずに、つながっているように再生します。
パワーセーブ（リモコンのバックライト/本体OPRランプの点灯設定）[1]	● オフ		リモコン表示窓のバックライトは操作直後約10秒間点灯し、その後消えます。本体のOPRランプは点灯したままです。
	1		操作をしても、リモコン、本体ともに点灯しません。
	2		操作をしても、リモコン、本体ともに点灯しません。さらに、「イコライザー設定」と「低音強調設定」は無効になります。
再生順設定 [1] [6]	トラック	● 通常再生	書き込み順に再生します。
		ID3TAG TNO	ID3タグの番号順に再生します。
		ファイル名順	ファイル名順[7]に再生します。
	グループ	● オフ	書き込み順に再生します。
		オン	グループ名順[7]に再生します。
表示方向設定	● 通常方向		通常の方向に表示されます。
	反対方向		表示方向を逆転させます。「イコライザー」の「カスタム設定」項目の設定時やList Viewなどの検索時に、リモコンのVOLつまみの＋/－の働きが逆になります。
CD-EXTRA [1] [8]	● オフ		通常使用時の設定です。
	オン		CD-EXTRAが正しく再生できない場合、再生できることがあります。
アニメーション	● オフ		操作をしていないときは通常の再生画面が表示されます。
	オン		操作をしていないときは、アニメーション表示に変わります。

1）停止中にのみ設定できます。

2）音楽CDでは設定できません。CD-Extraでは、「CD-EXTRA」を「ON」に設定しているときのみ設定できます。

3）「AUTO」の文字は、「LANGUAGE」の「MENU」項目で設定されている言語で表示されます。

4）Automatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム）の略です。

5）ATRAC CDのみ設定できます。

6）音楽CDでは設定できません。

7）半角数字、半角英字、ひらがな、カタカナ、漢字、全角数字、全角英字の順です。

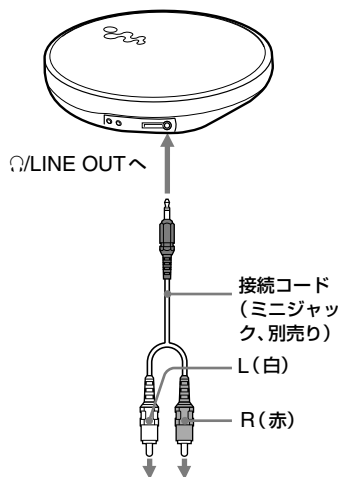
8) 音楽CDとCD-Extraのみ設定できます。

ご注意

- 「G-PROTECTION」を「2」に設定していても、次のような場合、音が飛ぶことがあります。
  - 強い衝撃が連続的に与えられたとき
  - 傷や汚れのあるCDのとき
  - CD-R/CD-RW：品質や、記録に使用したレコーダーの状態に問題があるとき
- 「無曲間再生」を「オン」に設定していても、ソースの録音状態によっては曲がつながらないときがあります。

他の機器に接続する

他のステレオ機器に接続してCDを聞いたり、本機で再生した曲をテープに録音できます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
接続する機器の電源を必ず切ってから、以下のように接続、設定してください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

接続した機器に音声が出力されるように、「出力モード」の設定を必ず変更してください。「出力モード」の設定は次のとおりです。設定方法は、☞29、30ページをご覧ください。

接続機器	設定
ヘッドホン	ヘッドホン
接続コードで接続した機器	ラインアウト

他機に接続したときは、「ラインアウト」に設定します。「ラインアウト」に設定すると、本体およびリモコンでの音量調節と、音質設定機能は働きません。

ご注意

- CDを聞く前に、接続した機器の音量を下げてください。音がひずんだり、思わぬ大音量が出てスピーカーが破損するおそれがあります。
- 録音するときは、ACパワーアダプターを使ってください。充電池や乾電池では、録音途中で電池が消耗しきってしまうことがあります。
- CD本来の高音質で録音したいときには、「G-PROTECTION」の設定を「1」にしてください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、もう1度以下の流れにしたがって、問題をチェックしてください。

1 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

2 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページ http://www.sony.co.jp/support-pa/で調べる。

3 手順**1**、**2**を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞裏表紙）またはお買い上げ店に相談する。

電源

症状	原因 / 処置
充電できない。	➔ 充電池が入っていない。充電池を入れる（☞14ページ）。 ➔ ■/CHGボタンを押していない。ACパワーアダプターをつないだあと、■/CHGボタンを押す（☞14ページ）。 ➔ CDを再生している。再生を止める（☞19ページ）。

音声

症状	原因 / 処置
リモコンのVOL＋/－つまみを＋側に回し続けても（本体では、VOL＋ボタンを押し続けても）音量が小さすぎる。	➔ 「AVLS」が「オン」になっている。「オフ」にする（☞30ページ）。 ➔ 「出力モード」が「ラインアウト」になっている。「ヘッドホン」にする（☞30、32ページ）。
音が出ない。雑音が聞こえる。	➔ ヘッドホンのプラグをしっかり差し込む。 ➔ ヘッドホンのプラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布で拭く。
音量を調節できない。	➔ 「出力モード」が「ラインアウト」になっている。「出力モード」を「ヘッドホン」にする（☞32ページ）。接続した機器側で音量を調節する場合は、「出力モード」を「ラインアウト」にする（☞32ページ）。
CDのすれる音がする。	➔ 電池ぶたをしっかり閉める（☞14ページ）。
接続したステレオ機器で、音がひずんだり雑音が聞こえる。	➔ 「出力モード」が「ヘッドホン」になっている。「出力モード」を「ラインアウト」にする（☞32ページ）。
音質の設定ができない	➔ 「パワーセーブ」が「2」になっている（☞31ページ）。

次のページにつづく

操作/再生

症状	原因 / 処置
再生時間が短い。再生できない。	➔ マンガン乾電池を使用している。アルカリ乾電池を使う。 ➔ 新しい単3形(LR6)アルカリ乾電池と交換する(☞15ページ)。 ➔ 充電池のときは、何回か充電と放電(本体に入れて再生)を繰り返す(☞15ページ)。
曲が再生されない。	➔ 本機で再生可能なフォーマット以外のファイルを再生しようとした(☞9ページ)。 ➔ 「CD-EXTRA」の設定を変更する。再生できる場合があります(☞31ページ)。
「電池残量なし」が表示され、再生が始まらない。	➔ 充電池が消耗している。充電する(☞14ページ)。 ➔ 乾電池が消耗している。新しい単3形(LR6)アルカリ乾電池と交換する(☞15ページ)。
「電源__要確認」が表示される。	➔ 定格を超えたACパワーアダプターを使用している。ACパワーアダプターは付属のもの、カーバッテリーコードは、「別売りアクセサリー」に記載されているものを使う(☞37ページ)。
再生が始まらない。または、CDを入れても「ディスクなし」が表示される。	➔ CDが汚れているときは、CDをクリーニングする。CDに大きな傷があるときは、CDを交換する。 ➔ CDのラベル面を上にして入れる(☞18ページ)。 ➔ 結露(本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに内部に水滴が付着)している。CDを取り出して、そのまま数時間置く。 ➔ 電池ぶたをしっかり閉める(☞14ページ)。 ➔ 充電池または乾電池を正しく入れる(☞14、15ページ)。 ➔ ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む(☞17ページ)。 ➔ ACパワーアダプターを接続して1秒以上たってから、►II ボタンを押す。 ➔ CD-R/CD-RWに何も記録されていない。 ➔ CD-R/CD-RWは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合がある。
ボタンを押すと本体のOPRランプが点滅し、再生が始まらない。	➔ ホールド(誤操作防止状態)になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせ、HOLDを解除する(☞20ページ)。
止めたところから再生が始まる(リジューム機能)。	➔ リジューム機能が働いている。1曲目から再生を始めるには、停止中に►II ボタンを再生が始まるまで押したままにする(☞19ページ)。または本体のふたを開ける。あるいはすべての電源をはずして、接続し直す。
ATRAC CDまたはMP3 CDの再生中に、CDが回転しないが再生は正常に聞こえる。	➔ 本機はATRAC CDとMP3 CDの再生中は電力消費を減らすためにCDの回転を止めるように設計されているため、故障ではありません。

症状	原因 / 処置
►II ボタンを押した後や本体のふたを閉めたときに、「ファイル無し」が表示される。	→ CD-R/CD-RW に ATRAC/MP3 ファイルが含まれていない。 → CD-R/CD-RW に何も記録されていない。 → CD が汚れている。
液晶表示が見えにくい。表示の変わりかたがゆっくりになる。	→ 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）で使用している。常温になれば、元に戻る。
リモコンの「✐」が速く点滅して、曲の頭出しやサーチができない。	→ ブックマーク再生準備モードに入っている。プレイモード設定を通常再生（表示なし）にする（☞23ページ）。
「ブックマーク再生」を選んでいないのに ✐（ブックマーク）が点滅する。	→ ブックマーク再生以外の再生方法を選んだ場合は ✐（ブックマーク）が点滅します。
突然、再生が止まった。	→ タイマーが設定されている。「タイマー設定」を「オフ」にする（☞30ページ）。 → 充電池または乾電池が消耗した。充電池は充電し（☞14ページ）、乾電池は新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する（☞15ページ）。

その他

症状	原因 / 処置
本体のふたを閉めるとディスクが回転する。	→ ディスクの情報を読んでいるためで、故障ではありません。
リモコンで正常な操作ができない。	→ 本体の操作ボタンが誤って押されたままになっている。 → リモコンがしっかり接続されていない。

お手入れ

キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

型式
コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

復号化（D/A）
1 bitクォーツ時間軸制御

周波数特性＊
20 Hz ～ 20 000 Hz $^{+1}_{-2}$ dB（LINE OUT）

出力端子
- ライン出力（ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　0.7 Vrms（47 kΩ）
  推奨負荷インピーダンス　10 kΩ以上
- ヘッドホン出力（ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　5 mW＋5 mW
  （JEITA/16 Ω）
  推奨負荷インピーダンス　16 Ω

＊ 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

電源
- 充電式ニッケル水素電池NH-14WM
  1本（付属）：DC 1.2 V × 1
- 単3形（LR6）アルカリ乾電池1本（別売り）：
  DC 1.5 V × 1
- 外部電源ジャック：定格DC 3 V
  ACパワーアダプター（付属）を接続してAC
  100 V ～ 240 V電源から使用可能

動作温度
5℃～ 35℃

本体寸法（幅×高さ×奥行き）
約135.8 × 17.0 × 135.8 mm
突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）
約135.8 × 17.4 × 136.0 mm

質量
本体：約176 g
　　　約203 g（充電式電池を含む）（JEITA*）

＊ 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

アクティブスピーカー	SRS-Z30/Z31 SRS-Z510
ヘッドホン	MDR-E931SP MDR-EX81SL MDR-EX71SL MDR-G64SL MDR-G74SL
充電式電池	NH-14WM NH-10WM
接続コード	RK-G129 RK-G136
カーバッテリーコード	DCC-E84
カーコネクティングパック	CPA-8
カーバッテリーコード付き カーコネクティングパック	CPA-84U

製造年は本体のふたの内側に表示されています。

CEマークは、それが法的に強制されている国－主としてEEA（欧州経済地域）に加盟している国－でのみ有効です。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機はFraunhofer IIS 及び ThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

索引

五十音順

アルファベット順

表示・記号

お問合せ窓口のご案内

本商品についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.co.jp/support-pa/）
  本商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - 型名：D-NE830
  - 製造（シリアル）番号：記載位置については「CDウォークマン カスタマー登録のお願い」をご覧ください。
  - ご相談内容：できるだけ詳しく
  - お買い上げ年月日

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- **http://www.sony.co.jp/SonyDrive/**

お客様ご相談センター

- **ナビダイヤル ………… 0570-00-3311**
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- **携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311**
  （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- **FAX ……………………… 0466-31-2595**

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

(1)

Sony Corporation　Printed in Malaysia